

こうした生前の築成は、畿内等の大型古墳のみならずよく知られている例であるが、置賜盆地内における首長墓もある一定の計画性をもって造られていた可能性を示唆している。東北地方では会津大塚古墳が生前築成と推測されている。

ちなみに県内の例としては、小森山61号墳の第1号・第2号棺と小森山98号墳の2古墳がある。参考に前方後円（方）墳以外の古墳では、米沢市横山古墳、天童市衛盛塚古墳、川西町小森山古墳、雁境塚古墳（E-1号）、長井市河合山古墳群がある。

#### 4. 副葬品

出土品の内訳は、鉄剣1点・銚鉄2点・鉈1点・板状鉄製品2点・管玉7点、靱（漆製品）2点であり、成島1号墳が大型木棺であるのに比べ、副葬品の量は以外と少なかった。こういった傾向は、東北地方一般の古墳と共通しているといえる。鉄製品については、会津大塚山古墳の南棺副葬品に全体的に類似している。

鉄剣は、小型の鹿角装剣で、杷元に鐔状の菱形と外反菱形に加工した鹿角装具を装着して漆を施した精巧なもので、杷間に紐を巻いた痕跡と木質部が残っている。剣身部は凸レンズ形をし、全体に鞘木が残っている。古墳時代の鉄剣については、時代の変化とともに剣身が長くなる傾向が指摘されている。短身の剣については槍とする説もあるが、成島1号墳の鉄剣はその領域までは達していない。県内での鹿角装飾を施した鉄剣の例としては、山形市大ノ越古墳出土がある。鉄鏃は、身が薄く刺逆（腸扶）のある大型の有茎腸扶式鏃と小型の鑿頭式鏃の各1点がある。茎にはいずれも矢柄の痕跡を示す木質痕が明瞭に観察される。鉈は、木材の表面加工の仕上げや削具として使用するもので、柄の部分には布の痕跡が認められる。県内の出土例としては、川西町下小松古墳群の小森山61号墳・雁境塚古墳出土が知られている。板状鉄製品には鋳留痕とみられる穿孔が確認される。短甲の一部の可能性もあるが断言はできない。

管玉は地元の緑色凝灰岩（グリンタフ）製によるもので、左右から穿孔して製作されている。同様の管玉は米沢市の上浅川方形周溝墓から検出されている。

## 第2節 成島古墳群の性格

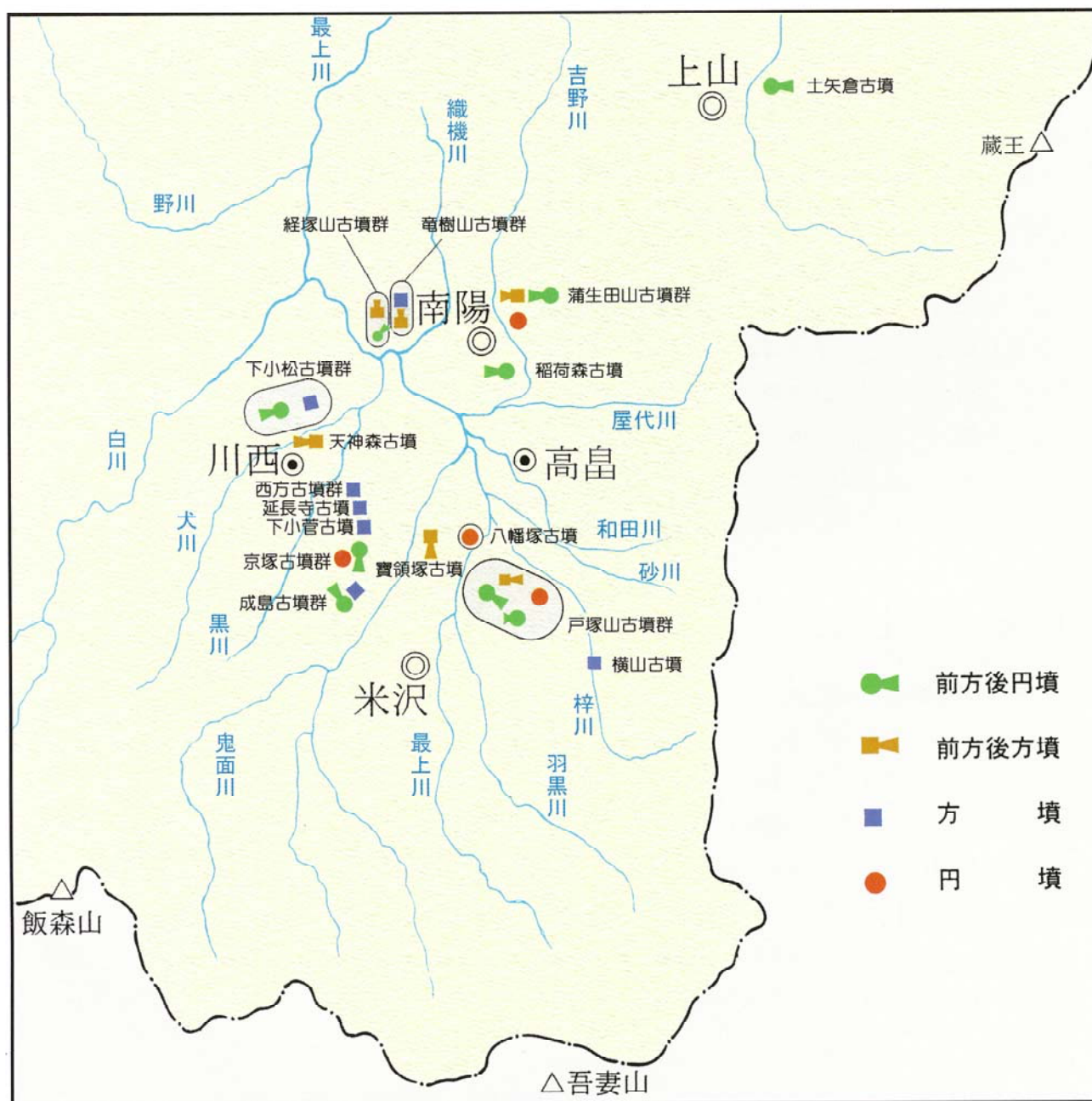
### 1. 置賜地域の前・中期古墳の分布と特徴

山形県内に存在する前方後円（方）墳は、35基を数える。山辺町と上山市の2基の古墳を除く他は、全て東南置賜地区に集中している。ここでは、置賜地区における古墳の発生と成立について考えてみたい。まず、古墳成立の背景として、一定区域を中心とした豪族や有力者の台頭が古墳成立の基盤にあったと考えている。そして小規模な地域を統括した人物が最初に古墳に埋葬された被葬者である。さらに、小規模な集団を政治的な権力をもって掌握しながら優位に立った人物が畿内の豪族と同盟・服属関係を結び、大規模な古墳を築くのが所謂「首長墓」である。東南置賜地区の主要古墳を分析すると河川を境に分布していることが判る。敢えて細分すれば次のようになる。

- (1) 米沢市の梓川と羽黒川を境とした横山古墳・戸塚山古墳群。
- (2) 米沢市の最上川と鬼面川を境にした範囲に分布する寶領塚古墳・八幡塚古墳。

- (3) 米沢市の鬼面川と川西町の黒川を境にした範囲に分布する成島古墳群・京塚古墳群・下小菅古墳・延長寺古墳・西方古墳群など。
- (4) 川西町の黒川と犬川を境に分布する天神森古墳群。
- (5) 川西町の犬川と白川を境に分布する下小松古墳群。
- (6) 高畠町の屋代川と吉野川を境に分布する浦生田山古墳群。
- (7) 南陽市の吉野川と機織川を境に分布する稲荷森古墳。
- (8) 南陽市の機織川と最上川を境に分布する経塚山・竜樹山古墳群。

以上の8河川を境とした範囲を古墳時代の行政区画と直結することは難しいが、いくつかの共通点を見出すことが可能である。これまでに調査された資料を基に検討すれば、置賜地方の古墳成立から首長墓出現までを推測することが可能となる。



第 28 図 置賜地域の前・中期古墳の分布図

第7表 米沢盆地の古墳編年表

年	米 沢 周 辺	川西町周辺	南 陽 市 周 辺
200			
300	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 比丘尼平方形周溝墓</li> <li>・ 大清水方形周溝墓</li> <li>・ 横山1号・2号</li> <li>・ 寶領塚</li> <li>・ 京塚古墳群</li> <li>・ 成島1・2号 戸塚山195号</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 雁境塚</li> <li>・ 天神森</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 経塚山、龍樹山古墳群</li> <li>・ 蒲生田山3号、4号</li> <li>・ 蒲生田山2号</li> <li>・ 稻荷森</li> </ul>
400	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 西方古墳群</li> <li>・ 三月在家 戸塚山182号</li> <li>・ 八幡塚</li> <li>・ 戸塚山140号</li> <li>・ 戸塚山139号</li> <li>・ 戸塚山137号 窪平</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 下小松61号</li> <li>・ 下小松98号</li> <li>↓</li> <li>↓</li> <li>↓</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 経塚山、龍樹山古墳群</li> <li>↓</li> <li>↓</li> <li>↓</li> </ul>
500	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 戸塚山138号</li> <li>・ 戸塚山181号</li> <li>・ 窪田</li> <li>・ 戸塚山34号</li> <li>・ 戸塚山180号</li> <li>・ 戸塚山178号</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 松沢1、2号</li> </ul>
600	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 戸塚山189号</li> <li>・ 戸塚山175号</li> <li>・ 戸塚山74号</li> <li>・ 戸塚山43号</li> <li>・ 戸塚山59号</li> <li>・ 戸塚山群集墳</li> <li>↓</li> <li>↓</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 天神裏</li> <li>・ 長手2号</li> <li>・ 木和田</li> <li>・ 長手4号</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒲生田山1号</li> <li>・ 二色根1号</li> <li>・ 赤湯古墳群</li> <li>↓</li> <li>↓</li> </ul>
700	<ul style="list-style-type: none"> <li>↓</li> <li>・ 牛森</li> </ul>		

#### ・発生期の古墳（4世紀中葉）

- (1) 米沢市の梓川と羽黒川を境に成立した古墳で、比丘尼平方形周溝墓から発展した集団の一派が最初に構築した古墳となる。横山古墳が最も古い段階の古墳と考えられるが、(3)の地域の下小菅古墳・延長寺古墳・西方古墳群の一部や(8)の経塚山古墳群・竜樹山古墳群の方墳の一部が含まれる可能性もある。

#### ・成立期の古墳（4世紀中葉～4世紀後半）

この段階になると、突然、小高い尾根や舌状丘陵の先端部を選定する小規模な前方後方墳や前方後円墳が米沢盆地の各地域に登場するようになる。

- (1) 米沢市の梓川と羽黒川を境に成立した米沢市の戸塚山古墳群内の戸塚山195号墳など。
- (3) 米沢市の鬼面川と川西町の黒川を境に成立する米沢市の成島古墳群・京塚古墳群・下小菅古墳・延長寺古墳・西方古墳群など。
- (5) 川西町の犬川と白川を境に成立した川西町の下小松古墳群内の雁境古墳など。
- (6) 高畠町の屋代川と吉野川を境に成立した南陽市の浦生田山古墳群。
- (8) 南陽市の機織川と最上川を境に成立した南陽市の経塚山古墳群・竜樹山古墳群。

の5箇所の地域に成立した古墳群で、方墳や円墳などの古墳がいずれも共存するといった特徴をもっている。これらの古墳群は、米沢盆地に点在していた豪族や有力者が各地域を集約して優位に立った豪族らの墳墓群とみている。

注目したいのは、経塚古墳群の存在である。この古墳群内で最大規模を誇るのが、全長41.1mの京塚1号墳である。1号墳は、貧弱ながらも6：6の畿内形に類似した前方後円墳であり、同じように前方後方墳として出現する浦生田山3号墳（全長34m）、浦生田山4号墳（全長33m）、経塚山6号墳・竜樹山17号墳（全長30m）、戸塚山195号墳（全長15.5m）、前方後円墳の経塚山2号墳・浦生田山3号墳（全長30m）に比べると一段階大きいのを特徴としている。京塚1号墳をここでは、成立期の古墳の仲間として分類しているが、次の発展期の古墳へ移行する段階で登場した初期首長墓の可能性を考えている。よって、京塚1号墳に関しては、成島古墳群の成立前に築造された公算が強い。さらに、1号墳に先行もしくは後続して構築された円墳群の存在も重要になってくる。これまで検出された置賜地区の4世紀代の古墳群は何れも方墳が中心で、円墳を主体とした京塚古墳群は特異な例となる。

今後は、米沢盆地における古墳の成立を全国的な観点から推測し、初期中央（大和）政権との影響や係りに地域文化の交流など、あらゆる可能性を考慮しながら慎重に検討しなければならないものと考えている。

#### ・発展期の古墳（4世紀後半～4世紀末）

首長墓と呼ばれる大型の古墳が次々と築成されるようになってくる時期である。

(6)と(8)地域を統一したのが稲荷森古墳の被葬者で、(7)南陽市の吉野川と機織川を境にする範囲に県内最大の前方後円墳を築いた。

(5)の地域を中心とする川西町をほぼ支中にし、米沢東部にまで影響を与えていたと推測される首長は川西町の水田地帯に天神森古墳を築いた。



第8表 山形県の前方後円(方)墳一覧表

単位はm

No.	古 墳 名	所 在 地	形 態	主軸長	後円径(方)	後円高(方)	前方長	前方幅	前方高
1	稲荷森古墳	南陽市大字長丘	前方後円	96.0	64.0	9.6	32.0	32.0	4.8
2	寶領塚古墳	米沢市窪田町窪田	前方後方	(80.0)	40.0	4.8	40.0	(50.0)	——
3	天神森古墳	川西町大字下小松	前方後方	75.6	48.3	4.2	32.5	32.5	3.0
4	成島1号墳	米沢市広幡町成島	前方後円	58.7	32.5	5.1	26.2	22.4	3.65
5	戸塚山139号墳	米沢市大字浅川	前方後円	54.0	36.0	4.5	18.0	24.0	4.0
6	京塚1号墳	米沢市広幡町上小菅	前方後円	41.1	21.7	3.5	19.4	15.0	5.0
7	小森山78号墳	川西町大字下小松	前方後円	35.0	20.0	2.1	9.3	9.2	2.1
8	蒲生田山3号墳	南陽市大字上野	前方後方	34.0	18.0	1m以上	12.0	11.0	1以上
9	蒲生田山4号墳	南陽市大字上野	前方後方	33.0	16.0	1m以上	13.0	11.0	1以上
10	蒲生田山2号墳	南陽市大字上野	前方後円	(30.0)	——	——	——	——	——
11	竜樹山17号墳	南陽市大字梨郷	前方後方	(30.0)	——	——	——	——	——
12	経塚山6号墳	南陽市大字梨郷	前方後方	30.0	19.5	2.3	12.5	10.0	1.2
13	経塚山2号墳	南陽市大字梨郷	前方後円	30.0	16.2	——	——	——	——
14	小森山61号墳	川西町大字下小松	前方後円	28.0	15.0	1.46	11.36	10.3	1.69
15	八幡塚古墳	米沢市窪田町窪田	帆立貝式	27.6	24.0	3.26	3.0	9.0	1.5
16	小森山98号墳	川西町大字下小松	前方後円	26.5	17.5	3.5	12.0	6.5	1.5
17	坊主窪1号墳	山辺町大字大寺	前方後円	26.5	17.5	1.95	9.0	(16.0)	1.05
18	小森山67号墳	川西町大字下小松	前方後円	24.5	13.5	——	11.0	8.0	——
19	京塚山9号墳	南陽市大字梨郷	前方後円	24.0	13.7	——	10.3	——	——
20	戸塚山137号墳	米沢市大字浅川	帆立貝式	24.0	21.0	2.8	3.0	9.0	1.5
21	小森山50号墳	川西町大字下小松	前方後円	23.5	13.0	——	9.5	6.5	——
22	小森山69号墳	川西町大字下小松	前方後円	23.0	13.0	——	8.5	8.0	——
23	小森山75号墳	川西町大字下小松	前方後円	23.0	13.0	——	9.0	10.0	——
24	小森山30号墳	川西町大字下小松	前方後円	22.5	12.3	——	7.5	6.0	——
25	小森山65号墳	川西町大字下小松	前方後円	22.3	14.5	2.1	9.3	9.2	2.1
26	小森山73号墳	川西町大字下小松	前方後円	22.0	13.5	——	8.0	7.0	——
27	小森山100号墳	川西町大字下小松	前方後円	22.0	7.5	3.0	9.0	5.0	2.0
28	小森山58号墳	川西町大字下小松	前方後円	21.5	13.5	——	7.5	5.0	——
29	小森山87号墳	川西町大字下小松	前方後円	21.0	13.0	——	8.0	5.3	——
30	小森山62号墳	川西町大字下小松	前方後円	21.0	13.0	——	6.5	7.0	——
31	小森山53号墳	川西町大字下小松	前方後円	19.5	10.5	——	6.5	7.0	——
32	小森山48号墳	川西町大字下小松	前方後円	17.5	12.3	——	7.5	6.0	——
33	土矢倉2号墳	上山市大字金谷	前方後円	17.0	10.7	(4.0)	7.3	(13.5)	(3.5)
34	戸塚山138号墳	米沢市大字浅川	帆立貝式	15.0	13.5	(1.5)	1.5	6.0	0.75
35	戸塚山195号墳	米沢市大字浅川	前方後方	15.5	9.5	1.5	5.5	9.5	2.0

注＝( )の数字は推定長・——は未確認。

(2)の地域の水田に忽然と出現した賓領塚古墳は、(1)の地域を含む米沢市と高畠町の一部を掌握した首長墓と考えられる。

(3)の地域を統一した地域には成島1号墳がある。京塚1号墳古墳に後続する古墳として成立したと推測している。ただし、賓領塚古墳と並行関係にあるかは検討の予知がある。上記の大型3古墳が全て平地に築かれていることに対する矛盾である。編年表では並行する時期を想定しているが、年代的な幅を有している可能性を示唆しておきたい。

このように大型の4古墳は、河川を境に成立した小規模集団を次々と統括し、最も優位に立った前期古墳を代表する首長墓とみられる。

その後、米沢盆地の古墳群は、5世紀に入ると新たな展開を示すようになる。最上川を境とする川西町の下小松古墳群と米沢市の戸塚山古墳群を中心とした東西2大の勢力構図に習合されるようになる。前者の下小松古墳群は、4世紀後半に成立した古墳が5世紀から6世紀にかけて急速に発展する古墳群であり、前期古墳～後期古墳までの約200基の古墳が存在している。

一方、200基以上の古墳が分布する戸塚山古墳群も4世紀末頃に成立し、5世紀後半の段階で首長墓が戸塚山の山頂に忽然と出現する。全長54mの前方後円墳である。その後、戸塚山には次々と古墳が継続して築かれ、7・8世紀を中心とした米沢盆地の終末期古墳の大半が戸塚山古墳群に集約されることになる。

## 2. 古墳の年代

主体部からの年代を決定する遺物は認められなかった。墳丘の表土からは後世に置かれた可能性のある土師器高杯と土師器壺の破片が出土しているが、古墳の直接的な時期を示すものではない。古墳の形態と大型の木棺からは前期古墳を示唆する要素をもっている。鉄製品は、これまでに述べてきたように前期古墳から検出される武器形態に類似性を有しており、特に、東北地方では唯一、豊富な副葬品で有名な会津大塚山古墳出土の鉄製品に共通する遺物が検出したことは留意すべきと考えている。会津大塚山古墳の年代については、概ね4世紀後半頃と位置付ける研究者が多い。この点だけで成島1号墳の年代を決定することはできないが、古墳の形状や鉄製品の形態を参考に考えてみれば、成島1号墳の築成年代としての上限は4世紀後半から末期頃と現在のところでは推測するのが妥当といえる。ちなみに京塚1号墳は、成島1号墳より古い4世紀後半前後としておきたい。

## 3. 成島古墳の意義

米沢盆地の古墳成立は、米沢市の横山古墳の調査などで4世紀中頃まで遡ることが判明している。その後、4世紀中葉～4世紀後半に入ると30m前後の小規模な前方後方墳や前方後円墳が山の山頂や尾根に次々と構築されるようになる。南陽市の浦生田山古墳群、経塚山古墳群、竜樹山古墳群、米沢市の戸塚山195号墳、それに京塚古墳群の仲間である。こうした古墳群の成立の背景には、各地域の中において政治力を結集した豪族や有力者が急速に台頭してきたことを物語っている。さらに京塚1号墳の発見で新たな資料を付け加えたことになる。

4世紀の後半から4世紀の末頃に入ると地域の首長墓と呼ばれる大型の古墳が次々と築成されるようになってくる。これらは、南陽市の稲荷森古墳、米沢市の成島1号墳、川西町の天神森古墳、米沢市の賓領塚古墳の4古墳であり、前期古墳を代表する首長墓とみられている。

当初、これらの首長墓は、単一な米沢盆地の時代変遷の中で成立した首長系譜とみる考え方もあったが、ある一定の地域区分の中で独自に発展成立したとする説が主流である。古墳編年参照。今回の調査で確認した成島1号墳は、将来の被葬者となる首長が、生前の段階で古墳造りを開始していたことを証明するもので、首長らは自らの指導力や支配権を行使して計画的に古墳を築造していたといえる。

その背景には、畿内等の陵墓や首長墓と同様に自らの指導力を生前段階で誇示する狙いがあったものと推測される。一方、地域の大型古墳の存在には、大和政権との係りが常に指摘される古墳形態や副葬品からの分析で、大和政権の影響・同盟・服属・服従といった表現が多いのも事実である。

しかし、地方の大型古墳のすべてが大和政権の影響下で成立したとする前提から脱却し、地域性や地域独自の古墳文化の発達を前線にした中で、他の地域との係りや大和政権との係りを研究する段階にきているものともいえる。米沢盆地を中心とする地域には、大型の前方後円墳や後方墳、その前後の小型の古墳等、他の地域とは異なる発達を示しており、今回の成島1号墳は、今後の古墳文化の究明に重要な資料を提供したといえる。

## 参考文献

- 1 西村真二 1938 「置賜盆地の古代文化」『東置賜郡史』(上巻)
- 2 柏倉亮吉 1953 『山形県の古墳』「山形県文化財調査報告書 第4輯」山形県教育委員会
- 3 川崎利夫 1964 『辺境における古墳文化の特質』『日本考古学の諸課題』
- 4 会津若松史出版委員会編 1964 「会津大塚山古墳」『会津若松史』別巻1 会津若松市
- 5 柏倉亮吉・武田好吉・小野忍 1969 『土矢倉古墳群発掘調査』上山市教育委員会
- 6 伊東信雄・伊藤玄三 「会津大塚山古墳」『会津若松市 別巻1』会津若松市
- 7 加藤 稔 1973 「最上川流域における古墳文化の展開」『最上川流域の歴史と文化』工藤定雄教授還暦記念論文集
- 8 柏倉亮吉他 1976 「牛森古墳」『米沢市八幡原工業団地造成予定地内埋蔵文化財調査報告書第2集』米沢市教育委員会
- 9 川崎利夫 1977 「出羽地域における古分の成立」『考古学研究第24巻2号』考古学研究会
- 10 佐藤鎮雄・保角里志 1979 「稲荷森古墳」『昭和53年度調査概報』山形県立博物館
- 11 佐藤鎮雄 1982 「置賜地方の古墳-南陽市周辺の高墳をみる中心として-」『まんざり創刊号』まんざり会
- 12 手塚孝・菊地政信 1983 『八幡堂遺跡発掘調査報告書』「米沢市埋蔵文化財報告書 第8集」米沢市教育委員会
- 13 加藤稔・手塚孝 1983 『戸塚山137号墳』「米沢市埋蔵文化財調査報告書 第9集」米沢市教育委員会
- 14 藤田有宣他 1984 『分布調査報告書』「川西町埋蔵文化財調査報告書 第7集」川西町教育委員会
- 15 川崎利夫 1985 「最上川流域における古墳文化の生成と展開」『流域の地方史』
- 16 手塚 孝 1985 『米沢の古代文化』まんざり会
- 17 加藤稔・藤田有宣 1986 『天神森古墳発掘調査報告書』「川西町埋蔵文化財調査報告書 第9集」川西町教育委員会
- 18 手塚孝・菊地政信 1986 『大清水遺跡発掘調査報告書』「米沢市埋蔵文化財調査報告書 第17集」米沢市教育委員会

- 19 藤田宥宣他 1986 『下小松墳丘群小森山支群 第61・64号墳調査報告書』「川西町埋蔵文化財調査報告書 第10集」川西町教育委員会
- 20 藤田宥宣他 1986 『下小松墳丘群鷹待場支群 第105・106・186号墳調査報告書』「川西町埋蔵文化財調査報告書 第11集」川西町教育委員会
- 21 藤田宥宣他 1986 『下小松墳丘群小森山支群 第65号前方後円墳調査報告書』「川西町埋蔵文化財調査報告書 第13集」川西町教育委員会
- 22 加藤稔他 1987 『菅沢2号墳の発掘調査』山形市教育委員会
- 23 手塚 孝 1988 『比丘尼平遺跡発掘調査報告書』「米沢市埋蔵文化財調査報告書 第21集」米沢市教育委員会
- 24 川崎利夫 1988 「山形南半における終末期古墳の様相」『山形考古 第4巻第2号』山形考古会
- 25 藤田宥宣他 1988 『下小松墳丘群葉師沢支群 第143・145号墳調査報告書』「川西町埋蔵文化財調査報告書 第12集」川西町教育委員会
- 26 手塚 孝 1989 <八幡塚古墳の発掘調査>『遺跡詳細分布調査報告書 第2集』「米沢市埋蔵文化財調査報告書 第25集」米沢市教育委員会
- 27 手塚孝他 1989 『戸塚山古墳群詳細分布調査報告書』「米沢市埋蔵文化財調査報告書 第10集」米沢市教育委員会
- 28 古野一郎・茨城光裕 1989 『稲荷森古墳発掘調査報告書』「南陽市埋蔵文化財調査報告書 第4集」南陽市教育委員会
- 29 加藤稔他 1989 『菅沢2号墳発掘調査報告書』山形市教育委員会
- 30 加藤稔他 1989 『坊主窪1号墳予備調査報告書』「山辺町埋蔵文化財調査報告書2」山辺町教育委員会
- 31 手塚 孝 1990 <寶領塚古墳の発掘調査>『遺跡詳細分布調査報告書 第3集』「米沢市埋蔵文化財調査報告書 第27集」米沢市教育委員会
- 32 国学院大学 1990 『河井山遺跡群学術調査報告書』国学院大学考古学資料館
- 33 国学院大学『河井山遺跡群第1号墳学術調査報告』「国学院大学考古学資料館紀要6」河井山遺跡学術調査団
- 34 手塚孝他 1991 『寶領塚古墳の発掘調査報告書』「米沢市埋蔵文化財調査報告書 第31集」米沢市教育委員会
- 35 吉田博行ほか 1991 「杵ガ森古墳・稲荷塚遺跡」『坂下西第一土地区画整理事業坂下西第一地区発掘調査概報』会津坂下町文化財調査報告書第22集 会津坂下町教育委員会
- 36 手塚 孝 1992 <成島古墳群の発掘調査>『遺跡分布調査報告書 第5集』『米沢市埋蔵文化財調査報告書 第32集』米沢市教育委員会
- 37 加藤 稔 1994 『地方の概要 出羽 前方後円墳集成』東北関東編
- 38 菊地芳朗 1994 「会津大塚山古墳南棺出土の靱」『福島県立博物館紀要第8号』福島県立博物館
- 39 吉田博行 1995 『杵ガ森古墳発掘調査報告書』「会津坂下町文化財調査報告書第33集」会津坂下町教育委員会
- 40 高橋千晶 1995 「置賜地方の切石石室-石室構造の観点から-」『山形考古第5巻3号』山形考古学会
- 41 茨城光裕 1997 『大塚天神古墳第1次調査』「山辺町埋蔵文化財調査報告書2」山辺町教育委員会
- 42 手塚孝・菊地政信 1998 <木和田古墳の発掘調査>『遺跡詳細分布調査報告書 第11集』「米沢市文化財調査報告書 第61集」米沢市教育委員会
- 43 井田秀和他 1998 『安久津古墳群の発掘調査』「高畠町埋蔵文化財調査報告書 第6集」高畠町教育委員会
- 44 手塚孝・菊地政信 1999 <天神裏・長手古墳群の発掘調査>『遺跡詳細分布調査報告書 第12集』「米沢市埋蔵文化財調査報告書 第65集」米沢市教育委員会
- 45 茨城光裕 1999 『大塚天神古墳第2次調査概報』「山辺町埋蔵文化財調査報告書2」山辺町教育委員会



第9表 東北・関東地方木棺検出古墳一覧表

No.	古墳名	所在地	古墳形態・規模	年代	木棺形態・規模	副葬品	備考
1	遠見塚古墳	宮城県仙台市若林区遠見塚	・前方後円墳 (前方部1段・後門部2段) 全長110 m 後門径63 m, 高6.4 m 前方長47 m, 高2.4 m	4世紀中	「東柳」割竹形木棺 長径(?)・短径1.15 m 「西柳」割竹形木棺 残存部幅1.10 m	硬玉管玉1点, ガラス小玉4点, 縦櫛20点	粘土櫛 粘土櫛
2	小森山61号墳	山形県東置賜郡川西町大字下小松字小森山	・前方後円墳 全長25.5 m 後門径15.0 m, 高1.64 m, 頂径9.8 m 前方幅10.3 m, 長径11.36 m, 高1.69 m くびれ幅6.82 m, 後前高差-1 m	6世紀前	「第1号木棺 (粘土床)」 木棺 (割竹形分) 墓坑長1.90 m, 深0.55 m, 幅0.6 m 「第2号木棺 (粘土床)」 木棺 (割竹形分) 墓坑長2.59 m, 深0.5 m, 幅0.5 m	「第1号棺」 環状鉄製品1点 (耳飾か), 直刀1点, 広身式鉄3点, 刀子1点 「第2号棺」 広身式鉄1点, 鈍1点, 刀子1点	
3	小森山98号墳	山形県東置賜郡川西町大字下小松字小森山	・前方後円墳 (前方部1段?・後門部2段?) 全長26.5 m 後門径17.5 m, 高3.5 m, 頂径12 m 前方幅6.5 m, 長径12 m, 高1.5 m くびれ幅6 m, 後前高差-2 m	6世紀中	割竹形木棺直葬 長径6.2 m	軀 (木製) 部分, 土師器埴 (内黒・鬼高式並行)	
4	E-1号墳 (旧雁境)	山形県東置賜郡川西町大字下小松字電ヶ沢	・円墳 全長 (南北) 12.0 m, 高0.9 m	4世紀末	木棺直葬 長2.85 m以上 幅1.35 m	鈍, 鉄製品	
5	横山古墳	山形県米沢市大字木和田字横山	・方墳 全長13.5 m, 幅13 m	4世紀中	「第1号」木棺直葬 長径4.7 m 幅0.85~1.3 m 「第2号」木棺直葬 長径3.3 m 幅0.55 m 「第3号」箱型木棺 長径4.2 m 幅0.6 m	「第1号」 埴3点 「第2号」 管玉1点 「第3号」 土師器片	
6	成島1号墳	山形県米沢市広幡町成島字六日在家山	・前方後円墳 全長60 m	4世紀後 ~末	割竹形木棺 長8.4 m 幅0.75 m	鹿角装剣1点, 柳葉式鉄1点, 髷頭式鉄1点, 緑色凝灰岩製管玉7点, 板状鉄製品2点, 軀 (漆製品) 2点	
7	本屋敷1号墳	福島県双葉郡浪江町大字北幾世橋字伊織迫	・前方後円墳 全長36.5 m 後方辺東辺17.6×北辺21 m, 高3.30 m, 頂径約70 m, 長径55 m, 高6 m 前方幅現在8.5 m, 長径14.0 m, 高1.27 m くびれ幅6.6 m, 後前高差-2.03 m	4世紀前	「後方部主体」 割竹形木棺 長径7.26 m 中央幅0.9 m		
8	会津大塚山古墳	福島県会津若松市一賀町大字八幡字大塚	・前方後円墳 (前方部2段・後門部2段) 全長114 m 後門径約70 m, 高13 m, 頂径24 m 前方幅約50 m, 長径55 m, 高6 m くびれ幅32 m前後, 後前高差-6 m	4世紀中 ~後	「南棺」 割竹形木棺 長径8.4 m, 高0.4~0.5 m 幅1.1 m 「北棺」 割竹形木棺 長径約6.5 m, 高1 m程度 (蓋含) 幅約1 m	「南棺」 仿一三角縁唐草文帯山三神二獻鏡1点, 菱形四獻鏡1点, 硬玉勾玉1点, 碧玉管玉79点, ガラス小玉61点, ガラス小玉破片31点, 琥珀算盤玉2点, 堅櫛2点, 鉄剣7点, 三葉環頭大刀1点, 直刀1点, 小刀1点, 柳葉式鉄27点, 定角式鉄11点, 髷頭式鉄9点, 銅鏡29点, 銅1点, 斧4点, 櫛又は鍬先1点, 鈍3点, 刀子2点, 棒状鉄器3点, 砥石1点, 石片1点, 台石1点 「北棺」 仿一葉文鏡, 碧玉管玉40点, 碧玉製約鉄車1点, 鉄剣5点, 直刀1点, 柳葉式鉄5点, 無著長三角式鉄 (逆刺付) 36点, 銅鏡4点, 鈎殘片, 斧2点, 刀子1点	

No	古墳名	所在地	古墳形態・規模	年代	木棺形態・規模	副葬品	備考
9	田村山古墳	福島県北会津郡北会津村大字和合字塚の越	・前方後円墳 (帆立貝型) 墳長 26 m	5世紀中	木棺の可能性有	仿一小型内行花文鏡1点, 不明一小型内行花文鏡1点, 鉄剣1点 (残欠), 刀子1点 (残欠)	
10	山谷古墳	新潟県西蒲原郡巻町福井字山谷	・前方後円墳 全長 36.97 m 後方辺幅 22.9 m×縦 24.7 m 頂辺縦 14.5 m×幅 9.5 m 前方幅 16.3 m, 長径 12.27 m, 高 2.3 m 後前高差 - 1.0 m	4世紀前	銅竹形木棺 (直葬) 長径 4.8 m, 高 0.5 ~ 0.6 m 幅 1.14 ~ 1.44 m	碧玉管玉7点, ガラス小玉 34点, 鑿伏鉄器1点	
11	鏡塚古墳	茨城県東茨城郡大洗町磯浜町日下字日下塚	・前方後円墳 全長 105.5 m 後円径 60 m, 高 12 m 前方幅 35 m, 長径 45.5 m, 高 4.5 m	4世紀末	木棺 (輪) 長径 8.95 m, 幅 3.5 m	仿一変形四獣鏡1点, 内行六花文鏡1点, 碧玉管玉 23点, 管玉 4点, 滑石白玉 3989点以上, ガラス小玉 47点, ヒスイ小玉 47点, ヒスイ勾玉 5点, 櫛十数片, 石製模造品 (剣) 6点, 短冊形斧 2点, 鋤 1点, 手斧 16点, 直刃鎌 2点, 鏡 1点, 鑿 1点, 刀子 10点, 紡錘車 11点, 立花形 1点, 勾玉 2点, 直刀 1点, 鎌 1点, 鏡 1点	粘土槨
12	コロニ7号墳	茨城県東茨城郡内原町形崎	・前方後円墳 全長 30 m 後円径 23 m, 高 3.25 m 前方幅 15 m, 長径 7 m, 高 1 m	5世紀中	木棺 長径 3.5 m, 幅 0.6 m	刀子1点, 杯, 碗 2点, 杯蓋 1点, 杯身	
13	コロニ8号墳 (狐塚)	茨城県東茨城郡内原町形崎	・前方後円墳 全長 30.1 m 後円径 24.5 m, 高 3 m, 頂径 10 m 前方幅 11.2 m, 長径 7 m, 高 1 m	5世紀中	銅竹形木棺 長径 3.7 m, 幅 0.5 m	刀子1点, 碗 5点	
14	勤使塚古墳	茨城県行方郡玉造町沖州字下組	・前方後方墳 全長 64 m 後方辺 30 m, 高 8 m 前方幅 18 m, 長径 34 m, 高 5 m, 後前高差 - 3 m	4世紀中	木棺 (直葬) 長径 9.1 m, 幅 1 m	仿一重圓文鏡1点, ガラス小玉 40点, 蛇文岩管玉 10点, 鉄剣1点	
15	佐久2号墳 (佐目塚)	茨城県新治郡八郷町佐久字佐目塚	・前方後方墳 全長 58 m 後円径 35 m, 高 6 m 前方幅 27 m, 高 4.3 m, 後前高差 - 1.7 m	4世紀後	木棺 長径 6.2 m, 深 0.7 m, 幅 1 m	硬玉勾玉 2点, 碧玉蛇文岩管玉 20点, ガラス小玉 8点, 竹櫛 1点, 刀子 1点	粘土槨
16	丸山1号墳	茨城県新治郡八郷町柿岡字高友	・前方後方墳 全長 55 m 後方辺 34 × 30 m, 高 6 m 前方幅 18 m (22 m), 高 4 m, 後前高差 - 2 m	4世紀後	木棺 (直葬) 長径 4.5 m, 幅 0.75 m	仿一内行花文鏡1点, 滑石丸玉 1点, メノウ勾玉 9点, 碧玉管玉 95点, ガラス丸玉 138点, 琥珀玉 1点 (?), 鉄剣 6点, 鉄刀 3点, 銅鏡 4点, 刀子 1点	
17	桜山古墳	茨城県龍ヶ崎市長峰町字才ノ谷	・前方後円墳 全長 71.2 m 後円径 38.8 m, 高 8.9 m 前方幅 30.6 m, 長径 32.4 m, 高 3.5 m	4世紀後	銅竹形木棺? 法長径 8.3 m, 幅 1.3 m	蛇文岩管玉 42点, 輝綠岩管玉 1点, 流文岩管玉 6点, 鉄剣 2点, 大刀 1点, 柳葉式鎌 3点, 刀子 1点, 鏡 1点	粘土槨

No.	古墳名	所在地	古墳形態・規模	年代	木棺形態・規模	副葬品	備考
18	山木古墳	茨城県つくば市北条字山水	・前方後円墳（前方部1段・後円部2段） 全長 48 m 後円径 25.5 m, 高 3.5 m 前方長 22.5 m, 前方幅 15.5 m, 高 2 m 後前高差 -1.5 m	4世紀後	木棺 長径 3.2 m, 幅 0.7 m	碧玉管玉 10 点, 滑石勾玉 1 点, ガラス丸玉 1 点, ガラス小玉 1 点, 鉄剣 1 点	粘土槨
19	北条桜塚古墳 （小和田1号墳）	茨城県つくば市北条字甲山	・前方後方墳 全長 30 m 後方辺 22 m	4世紀後	割竹形木棺 法長径 6.74 m, 幅 0.5 ~ 0.8 m 深さ 0.4 m	仿一四獣鏡 1 点, ガラス小玉 29 点, メノウ勾玉 1 点, 銅線凝灰岩管玉 50 点, 琥珀丸玉 2 点, 石剣 1 点, 編物 1 点	粘土槨
20	那須八幡塚古墳	栃木県那須郡小川町大字吉田字八幡	・前方後方墳 全長約 68 m? 後方辺約 34 m, 高約 6.3 m 頂辺 6 × 10 m, ぐびれ幅 15 m	4世紀中	木棺（種類不明） 全長（推定） 6.55 m	中国一き鳳鏡 1 点, 鉄剣 1 点, 鎌（直刀） 1 点 鋸 1 点, 鉤 4 点以上, 間透 1 点, けずり小刀 3 点, 有袋鉄斧 1 点, 小斧 2 点, 土師器埴輪（五領式?）	
21	駒形大塚古墳	栃木県那須郡小川町大字三輪字駒形	・前方後方墳 全長推定 64 m 後方辺約 30 m, 高約 6.5 m	4世紀前	木棺 内法長 3.1 m, 幅 0.75 m	中国一画文帯竜虎四獣鏡点, ガラス小玉 53 点 鉄剣 2 点, 鉄刀 2 点, 柳葉 3 点, 脇持御簪 3 点, 有袋鉄斧 1 点, 鉤 1 点, 蔵手状素環頭面刃刀子 1 点, 土師器壺・高杯・鉢（五領式）	粘土槨
22	山崎1号墳	栃木県真岡市根本字山崎	・前方後円墳 全長 33.4 m 後方辺 18.2 m, 高 2.2 m 前方幅 9.5 m, 長径 4 m 高 0.8 m, 後前高差 -1.4 m	4世紀中	割竹形木棺 長径約 3 m, 幅約 1 m	緑色凝灰岩製管玉 2 点, 鉄剣 1 点, 鉤 1 点	粘土槨
23	茂原大日塚古墳	栃木県宇都宮市茂原町江面	・前方後方墳 全長 35.8 m 後方辺 20.3 m, 高 4.2 m, 頂辺 8 m 前方幅 16.6 m, 長径 15.5 m, 高 2.1 m ぐびれ幅 1.3 m, 後前高差 -2.1 m	4世紀前	箱形木棺（直葬） 長径 3.6 m, 幅 0.7 m 深 0.7 m	仿一素文鏡 1 点	
24	矢場業師塚古墳	群馬県太田市本矢場乙	・前方後円墳 全長約 80 m 後円径約 50 m 前方幅約 25 m, 長約 30 m ぐびれ幅約 25 m	4世紀中	割竹形木棺? （長さ不明）	中国一四獣鏡 1 点, 碧玉勾玉 2 点, 碧玉管玉 95 点, メノウ勾玉 1 点, ガラス小玉 19 点, 石剣（銅 石製・有文） 2 点, 鉄剣 1 点, 柳葉式鎌 16 点	粘土槨
25	中原古墳	群馬県太田市大字高林字中原	・前方後円墳 全長約 56 m 後円径約 41 m, 高約 6 m, 前方幅約 12 m, 長径約 14 m, 高約 1.2 m	4世紀後	割竹形木棺か? （長さ不明）	鉄刀 1 点, 長頸細身式鎌 130 点, 短甲横刃板 1 点	磯槨
26	前橋八幡山古墳	群馬県前橋市朝倉町	・前方後方墳 全長東西 125 m, 南北 180 m 後方辺 72 m, 高 12 m 前方幅 59 m, 高 8 m 後前高差 -4 m	4世紀前	割竹形木棺（推定） （長さ不明）	大刀 1 点, 棒状鉄器（玉杖?） 1 点	粘土槨?

No	古墳名	所在地	古墳形態・規模	年代	木棺形態・規模	副葬品	備考
27	前橋天神山古墳	群馬県前橋市広瀬町	・前方後円墳 (前方部3段・後円部3段) 全長129m 後円径75m, 高9m, 頂辺25m 前方幅68m, 長径54m, 高7m くびれ幅約45m, 後前高差-2m	4世紀中	「下位埋葬施設 (中央部)」 割竹形木棺 (棺内赤彩) (長さ不明)	「中央部」 中国-三角縁鳥獣文帯五神四獣鏡1点, 三角縁鳥獣文帯四神四獣鏡1点, 二禽二獣鏡1点, 半円方格帯面鏡 (階段式神鏡) 1点, 仿一変形獣形鏡 (獣文鏡) 1点, 鉄槍15点, 大刀4点, 素環頭大刀1点, 鉄槍 (4点), 柳葉形銅鏡30点, 釧2点, 釧3点, 短冊形鉄斧3点, 刀子1点, 鉋23点, 釣針状金具4点, 針状金具5~6点, 埴 (内面赤色顔料入り, 石田川式), 紡錘車形石製品4点	粘土槨
28	栗崎飯玉山古墳	群馬県高崎市栗崎町宮原	・前方後円墳 全長27.2m 後円高3.6m		木棺直葬?	勾玉, 金環	
29	長者屋敷天王山古墳	群馬県高崎市下佐野町長者屋敷	・前方後円墳 全長65.4m 後円高4.5m	4世紀中	木棺 (長さ不明)	仿一内行花文鏡2点, 不明一変形珠文鏡1点 碧玉管玉13点, 滑石勾玉10点, 滑石白玉100点以上, ガラス小玉8点, 水晶算盤玉2点, 石釧 (嵌玉製) 2点, 滑石釧1点, 滑石刀子2点, 滑石斧2点	粘土槨
30	北山茶白山西古墳	群馬県富岡市南後箇	・前方後円墳 全長33.6m 後円径17.7m, 高1.1m 前方幅16.2m, 長径10.3m くびれ幅4.1m	4世紀後	割竹形木棺 (直葬) 長径6.35~6.76m, 深0.6m, 幅1.48~1.66m	中国一方格規矩鏡1点, 仿一変形四神鏡1点 碧玉管玉, ガラス小玉2点, 鉄釧1点, 鉄針1点, 刀子1点, 斧1点, 鉋状鉄器1点	粘土槨
31	入西石塚古墳	埼玉県坂戸市善徳寺字万海	・前方後円墳 全長推定36~40m 後円径推定24~28m	6世紀前	木棺直葬または木棺礎床 (長さ不明)	仿一珠文鏡1点, 乳文鏡1点, 直刀, 鉄槍2点, 鉄針1点, 鉄鏡・長頸広身式鏡・柳葉式鏡27~30点, 挂甲・鉄留小札綴甲	
32	城山5号墳 (城山8号)	千葉県香取郡小見川町小見川字城山	・前方後円墳 全長51m 後円径30m, 高径5m 前方幅24m, 高径5.5m	6世紀後	木棺直葬? (長さ不明)	銅釧, 勾玉・白玉, 双孔円板, 高坏・埴・蓋坏・蓋身7点, 手づね土器	
33	塚原1号墳	千葉県八日市場市吉田字塚原	・前方後円墳 全長約35m 後円径約15m, 高径3m 前方幅約8m, 高径1m		木棺直葬と推定 (長さ不明)	扁平勾玉1点, 刀子1点	
34	片野23号墳	千葉県佐原市片野	・前方後円墳 (前方部2段・後円部2段) 全長33.7m 後円径20.4m, 高径3.1m 前方幅21.7m, 高径2.6m		木棺直葬 (明細不明)	直刀1点, 鉄鏡15点以上	
35	片野11号墳	千葉県佐原市片野	・前方後円墳 全長32m 後円径21m, 高径3.5m 前方幅20.8m, 高径2.5m		木棺直葬 長径3.4m, 深1.1m, 幅0.4m	直刀片, 鉄鏡・長頸細身式鏡17点以上	木皮槨



No	古墳名	所在地	古墳形態・規模	年代	木棺形態・規模	副葬品	備考
36	大日山1号墳	千葉県香取郡下総町字高	・前方後円墳 全長 54 m 後円径 33 m, 高径 5.5 m 前方高 3.8 m, 後前高差 - 1.7 m	4世紀後	舟形木棺 (制竹形木棺か) 長径 5.5 ~ 6 m, 幅 1.1 m	碧玉管玉 2 点, ガラス小玉 8 点, 鉄剣 1 点, 短冊形鉄弁 1 点, 刀子 2 点	
37	次浦石橋台14号墳	千葉県香取郡多古町次浦字石橋台	・前方後円墳 全長 27 m 後円径 17 m 前方幅 12 m, 長径 12 m くびれ幅 11 m		木棺直葬 (推定)	鉄刀 1 点	
38	新城1号墳	千葉県香取郡多古町西古内字新城	・前方後円墳 全長 34 m 後円径 22 m 前方幅 17 m, 長径 8 m くびれ幅 12 m		「1号主体」 木棺直葬 (長さ不明) 「2号主体」 木棺直葬 (長さ不明)	「1号主体」 刀子片 2 点	
39	多古台No.8地点 第6号墳	千葉県香取郡多古町字広沼台	・前方後円墳 全長約 55 m	4世紀後	木棺 (長さ不明)	勾玉・管玉, ガラス小玉, 石釧, 白玉, 石釧 弁, 鎌, 刀子	
40	小川台5号墳	千葉県匝瑳郡光町小川台字熊落台	・前方後円墳 全長 30 m 後円径 21.3 m, 高 2.6 m 前方幅 18 m, 高 2 m	6世紀後	木棺直葬 長径 3.8 ~ 4 m, 幅 0.8 ~ 1 m	ガラス小玉 51 点, メノウ勾玉 1 点, 鉄刀 5 点 鉄釧 1 点以上, 刀子 1 点, 釧 1 点	
41	戸張作13号墳	千葉県千葉市東寺山町	・前方後円墳 (帆立貝型) 全長 27.5 m 後円径 15.5 m, 高 1.5 m 前方幅 9.5 m, 長径 4.5 m, 高 0.5 m くびれ幅 6.5 m, 後前高差 - 1 m		箱形木棺 (組合式) 長径 3.3 m, 幅 1.1 m	碧玉管玉 5 点, 滑石白玉 1 点, 土製小玉 12 点, 刀子 1 点	
42	中原Ⅲ号墳	千葉県千葉市平山町長谷部字中原	・前方後円墳 全長 33 m 後円径 20 m, 高径 3.15 m 前方幅 19 m, 長径 1.3 m, 高 1.9 m くびれ幅 10 m, 後前高差 - 1.27 m	6世紀後	木棺直葬 長径 2.95 m, 高 0.2 m, 幅 0.7 m	ガラス小玉 120 点, 金銅製耳環 2 点, 鋲, 環 2 点, 鉄刀 2 点	
43	中原Ⅴ号墳	千葉県千葉市平山町長谷部字中原	・前方後円墳 全長 25 m 後円径 18 m, 高 2 m 前方幅 7 m, 長径 7 m, 高 0.5 m くびれ幅 6 m, 後前高差 - 1.5 m	6世紀後	木棺直葬 長径 1.85 m, 幅 0.5 ~ 0.6 m	鉄刀 1 点, 鉄釧・長頸細身式釧 17 点, 広身式 釧 14 点, 刀子 1 点	
44	親皇塚墳	千葉県市原市菊間字北野	・前方後円墳 全長推定 60 m 後方辺 40 m, 高 7.1 m		制竹形木棺 2 「南棺」長径 5.98 m, 幅 0.95 m 「北棺」長径 10.75 m, 幅 0.8 m	「南棺」 仿一珠文鏡 1 点, 碧玉管玉 5 点, ガラス丸玉 1 点, 鉄剣 1 点, 鉄刀 1 点, 釧 1 点, 刀子片 1 点, 釧 2 点, 弁 1 点, 釧 1 点 「北棺」 仿一内行花文鏡, 碧玉管玉 94 点, 水晶勾玉 1 点, 琥珀勾玉 1 点, 石釧 1 点, 釧 2 点, 打簀 1 点, 刀子 7 点, 釧 1 点, 釧 1 点, 弁 1 点	

No	古墳名	所在地	古墳形態・規模	年代	木棺形態・規模	副葬品	備考
45	大 厩 4 号 墳	千葉県市原市大厩	・前方後円墳 (帆立貝型) 全長 29.5 m 後円径 20.9 m, 高 1.2 m 前方幅 9.4 m, 高 0.46 m くびれ幅 8 m, 後前高差 - 0.74 m	6 世紀後	「第1主体」 木棺直葬 「第2主体」 木棺直葬 (長さ不明)	「第1主体」 直刀1点, 鉄鏃・長頸細身式鏃 63点 「第2主体」 耳環2点, 直刀1点, 鉄鏃 18点	
46	仁 戸 名 2 号 墳	千葉県市原市仁戸名町	・前方後円墳 全長 31.5 m 後円径 19.5 m, 高 2.5 m 前方幅 14 m, 高 1.5 m くびれ幅 14 m	6 世紀後	箱形木棺? (長さ不明)	鉄刀1点, 鉄鏃・長頸細身式鏃 19点, 刀子1点	
47	江 子 田 金 環 塚 墳 古	千葉県市原市江古田字送り神	・前方後円墳 全長 63 m 後円径 25 m, 高 4.5 m 前方幅 25 m, 長径 21 m, 高 4.5 m		木棺直葬 長径 4 m, 幅 0.7 m	硬玉勾玉1点, メノウ勾玉6点, ガラス丸玉238点, 水晶勾玉1点, 琥珀勾玉7点, 不明勾玉1点, 水晶算盤玉, 金製耳環2点, 直刀1点, 棘冠被柳葉式36本以上, 刀子1点, 鉄鏃1点, 「字形鉄地金銅張鏡板付轡」1組, 鍔形鉄地金銅張杏葉5点, 鉄地金銅張雲珠1点, 辻金具2点, 鉄地金銅張辻金具 (革紐装着用) 6点, こぼぜ形金具・絞具2点, 麻布, 絹布	
48	弁 天 古 墳	千葉県柏市布施弁財天	・前方後円墳 全長 32 m 後円径 14 m, 高 3 m, 頂辺 7 m 前方幅 7 m, 長径 18 m, 高 1.5 m くびれ幅 7 m, 後前高差 - 1.5 m	5 世紀中	木棺直葬 長径 4.4 m以上, 幅 0.54 ~ 0.64 m	白玉 269点以上, 滑石刀子2点, 滑石斧3点 石枕1点, 立花形9点	
49	水 神 山 古 墳	千葉県我孫子市高野山	・前方後円墳 (前方部3段・後円部2段) 全長 81.5 m 後円径 36 m, 高 5 m頂辺 2 × 1.5 m 前方幅 33 m, 長径 36 m, 高 3 m くびれ幅 12 m, 後前高差 - 2 m	4 世紀後	制竹形木棺 長径 5.13 m, 西端幅 0.7 m, 中央幅 0.65 m	ガラス小玉 (青) 280点, 刀子2点, 滑石管玉1点, ガラス管玉1点, 針	粘土埴
50	根 田 130 号 墳 (旧根田1号)	千葉県市原市根田代	・前方後円墳 (帆立貝型) 全長 42 m 後円径 27.5 m, 高 2.3 m 前方幅 10 m, 高 8 m くびれ幅 8.5 m		「第1主体」 木棺直葬 (長さ不明) 「第2主体」 木棺直葬 (長さ不明)	「第1主体」 銀胎金鍍金環2点, 直刀2点, 鉄鏃7点, 刀子1点, 轡1点, 鐻子1点, 子札1点, 幡石1点 「第2主体」 鉄鏃7点, 刀子3点	
51	神 門 3 号 墳	千葉県市原市惣社字塚越	・前方後円墳 全長 56.5 m 後円径 34 m, 高 5.1 m, 前方幅 12 m以上, 高 15 m以上 くびれ幅 8 m		木棺直葬 (組合式箱形木棺) 長径 3.82 m, 幅 0.94 ~ 1.00 m	ガラス玉 103点, 管玉 11点, 鉄剣 1点, 鉄鏃 2点, 鉄槍 1, 鐻 1点	
52	神 門 4 号 墳 (神門141号)	千葉県市原市惣社字塚越	・前方後円墳 全長 49 m 後円径 34 m, 高 6.9 m 前方幅 14 m, 高 16 m, くびれ幅 9 m		木棺直葬 (長さ不明)	ガラス玉 420点, 硬玉勾玉 3点, 碧玉管玉 73点, 鉄剣 1点, 鉄槍 1点, 定角式鉄鏃細身式鉄鏃 41点, 施 1点	

No.	古墳名	所在地	古墳形状・規模	年代	木棺形態・規模	副葬品	備考
53	諏訪台古墳 728-025号墳	千葉県市原市村上	・前方後円墳 全長 28 m 後円径 15.5 m, 高 0.5 m 前方幅 14 m, 高 0 m		木棺直葬 (長さ不明)	大刀 1 点, 鉄鏃	
54	諏訪台古墳 4081号墳	千葉県市原市西広字松ヶ谷	・前方後円墳 全長 32.5 m 後円径 26 m		「a」主体 木棺直葬 (長さ不明) 「b」主体 木棺直葬 (長さ不明)	「a」主体 鉄刀 2 点 「b」主体 ガラス子玉, 琥珀玉	
55	諏訪台 16 号墳 (諏訪台 4033)	千葉県市原市惣社字天神台	・前方後円墳 全長 24 m 後円径 20 m		木棺直葬 (長さ不明)	メノウ勾玉 13 点, ガラス子玉, 金銅製耳環 1 対 (2 個)	
56	姉崎古墳 二子塚	千葉県市原市姉崎字二子塚 (二子塚)	・前方後円墳 全長 103 m 後円径 50 m, 高 9.5 m 前方幅 52 m, 長径 48 m, 高 8.5 m 〈CFL 幅 34 m, 後前高差 - 1 m		「後円部主体」 木棺直葬 (長さ不明) 「前方部主体」 木棺直葬 (長さ不明)	「後円部主体」 中国一編組文鏡 1 点, 仿一変形文鏡 1 点, 四神十二支鏡 1 点, 硬勾玉 7 点, 滑石大形勾玉 1 点, 滑石管玉 4 点, 琥珀勾玉 1 点, 鍔玉 5 点, ガラス子玉 300 余, 金具金具魚鱗文魚鱗文金銅製 (魚鱗か) 刀子 5 点, 有孔門板, 白玉 3 点, 鉄刀破片 2 点, 鉄鏃 1 点, 短中破片, 鉄地金銅製子丸鉾留衝角付冑 (地板 2 段構成), 挂甲子札片, 立花形 4 点, (伝) 石枕 「前方部主体」 メノウ勾玉 1 点, 銀製垂耳環 (腰佩), 鉄刀 2 点, 鉄鏃 2 点, 広身式・細身式鉄鏃, 長柳葉式, 横別板革綴 1 点, 挂甲子札片, 横別板革綴 1 点, 頸甲片, 肩甲片, 轡 (銜・引手), 立花形 2 点, 石枕 1 点 (高緑 3 段・直弧文陰刻)	
57	原 1 号墳	千葉県市原市姉崎字原	・前方後円墳 全長 70 m 後円径 36 m, 高 5.7 m 前方幅 50 ~ 60 m, 高 6 m, 後前高差 - 0.3 m		木棺直葬 (長さ不明)	直刀 1 点, 刀子片数点	粘土床
58	椿 8 号墳	千葉県袖ヶ浦市龍ノ口字内海台	・前方後円墳 墳長 38 m 後円径 21 m, 高 3.5 m 前方幅約 18 m, 長径 18 m, 高 1.7 m 後前高差 + 1 m		木棺直葬 2 (長さ不明)	メノウ勾玉, ガラス子玉, 刀子	
59	下郡古墳	千葉県袖ヶ浦市吉野田字寺原	・前方後円墳 全長 60 m		木棺直葬 (推定) (長さ不明)	鉄刀 3 点, 鉄鏃・長頸細身式鏃 (同関長三角・同関三角・片刃簡), 刀子 3 点 (鹿角装 1), 素環境板付轡 1 点	
60	高千穂 9 号墳	千葉県木更津市菅生字高千穂	・前方後円墳 全長 3.1 m 後円径 15 ~ 17.5 m, 高 2.2 ~ 3.15 m, 頂径 9 m 前方幅 13 m, 長径 13 m, 高 1.1 ~ 1.6 m 〈CFL 幅 11.5 m, 後前高差 - 1.7 m		「第 1 主体」 木棺直葬 (長さ不明) 「第 2 主体」 木棺直葬 (長さ不明)	「第 1 主体」 鉄刀 1 点, 鉄鏃約 110 点, 刀子 1 点, 朱 「第 2 主体」 鉄刀 2 点 (大 1・小 1), 鉄鏃約 40 点, 刀子 3 点	

No.	古墳名	所在地	古墳形態・規模	年代	木棺形態・規模	副葬品	備考
61	鳥越古墳	千葉県木更津市太田字鳥越	・前方後方墳 全長 25 m 後方辺 18 m, 高 3.5~4 m, 頂径 8 m 前方幅 9.5 m, 長径 6.5 m, 高 1.5~2.5 m くびれ幅 8.5 m, 後前高差 - 1.5 m		「第1主体」 箱形木棺 (長さ不明) 「第2主体」 箱形木棺 (長さ不明)	「第1主体」 碧玉管玉 9 点, ガラス子玉 78 点, 片口鉢, 高 杯, 土師器壺, 朱, 石臼 1 点, 石杵 1 点 「第2主体」 方一角規矩鏡 1 点, ガラス 282 点, 水晶罌玉 21 点	
62	鹿島塚 8 号墳	千葉県木更津市請西字鹿島塚	・前方後円墳 全長 38.6 m 後円径 22 m, 高 4.5 m, 前方幅 17.5 m, 長径 16.6 m, 高 3.5 m くびれ幅 23 m		木棺直葬 (長さ不明)	鉄刀 3 点, 細身式鍬 (両側長三角・両側三角・ 片刃簡), 刀子 3 (鹿角装 1), 素環鏡板付簪 1 点 提瓶, 土師器壺	
63	塚原 7 号墳	千葉県木更津市請西字塚原	・前方後円墳 全長 48.5 m 後円径 22.5 m, 高 4.0 m, 頂径 8 m 前方幅約 17 m, 長径 18 m, 高約 4 m くびれ幅約 10 m, 後前高差±約 0 m		「第1主体」 箱形木棺 長さ 2.87 m, 幅 0.87 m 「第2主体」 長さ 3.27 m, 幅 0.97 m	「第1主体」 ガラス子玉 32 点, 錫製耳環 2 点, 鉄刀 1 点, 刀 子 1 点 「第2主体」 鉄刀 1 点, 鉄鏃 29 点, 銀製肥元装具 1 点, 刀 子 1 点	
64	宝来山古墳 (西岡 37 号)	東京都大田区田園調布	・前方後円墳 (前方 2 段) 全長約 100 m 後円径約 52 m, 高推定 10 m 前方幅 32 m, 長現在約 30 m, (推定 50 m), 高 7 m		制竹形木棺 (推定) (長さ不明)	方一四獣鏡, 硬玉勾玉 4 点, (片面穿孔), 碧玉 管玉 67 点, ガラス丸玉 173 点, ガラス小玉 330 点, 紡錘車形石製品 1 点, 鉄剣 6 点, 鉄 刀 10 点, 鉄槍 1 点	粘土槨
65	狛江亀塚古墳	東京都狛江市元和泉	・前方後円墳 (帆立貝型) 全長 51 m 後円径 31 m, 高 6.0 m (推定復元 7 m), 頂径 8 m 前方幅 14 m (推定復元 15.7 m), 長径 9 m (推 定復元 10 m), 高 1.5 m くびれ幅 8.2 m, 後前高差 - 4.5 m		「第1主体」 木棺 「第2主体 (中央棺)」 木棺	「第1主体」 銀環 2 点, 直刀 1 点, 刀子 1 点 「第2主体 (中央棺)」 中国一尚方作神人歌舞面像鏡, 碧玉管玉 8 点 ガラス丸玉 336 点, ガラス小丸玉 320 点, ガラ ス小玉 450 点, 鈴釧 (鈴付銅釧), 直刀 1 点, 鉄鏃 5 種 27 点	「第1主体」 木炭槨 「第2主体」 木炭槨
66	東野台 2 号墳	神奈川県横浜市区戸塚区上矢部町	・前方後方墳 全長 54 m 後方辺 27 m, 高 3.5 m 前方長 15 m くびれ幅 12 m		制竹形木棺直葬 長さ 6.7 m, 幅 0.85 m	滑石勾玉 1 点, 滑石罌玉 1 点, ガラス丸玉 36 点, 鉄剣 2 点, 刀子 31 点, 埴 (五領式)	
67	塚越古墳	神奈川県平塚市北金目字塚越	・前方後円墳 全長 45 m 後円径 21 m, 高 2.35 m, 頂径 15 m 前方幅 6.5 m, 長径 24 m, 高 1.5 m, 後前高差 - 1.3 m		舟形木棺 (長さ不明)	碧玉管玉 4 点, (片面穿孔), 滑石管玉 2 点, (片 面穿孔), 鉄製工具 (全長 12.3 cm)	